

**めざせビngo!** ゴールをねらえ!  
京都サンガ F.C. キックターゲット

**きめろスマッシュ!**  
京都カガヤリス プロ選手ラリーデモ 的当てチャレンジ

**かっこよく跳ぼう!**  
NEWTRAD ダブルダッチ体験

**商店街のお店 キッチンカーも やってくる!**

**めざせビngo!** 京都ハンナリーズ シュートチャレンジ

**制服を着て自衛官 になりきり!** ミニ消防車 搭乗体験!

**1/26トラック 偵察用オートバイ展示**

**地震体験車**  
**防災ネイルケア**  
**スポーツカー展示**  
(マツシマホールディングス) etc.

**消防士変身コーナー!**

**2024年 3月10日 SUN 10:00 16:00**

第1会場 京都市役所前広場  
第2会場 ゼスト御池 河原町広場

**入場・参加 無料**

**京都のスポーツ & 商店街の マスコットキャラクター大集合!!**

はんニヤリン パーサクん るーなちゃん なやまっち 千本太郎 三条とーり 801ちゃん 月橋渡

**SPECIAL GUEST**  
京都ハンナリーズ 選手トークショー

**GUEST DJ**  
あちゃびん フレッシュ・コータ 大篠原ともえ

**京都商店連盟 京都府商店街振興組合連合会**

主催：京都府商店街振興組合連合会 (TEL 075-342-0301) 共催：京都商店連盟  
後援：京都市  
協力：商店街創生センター/京都サンガ F.C./京都ハンナリーズ/京都カガヤリス/株式会社マツシマホールディングス  
※雨天時も開催します (荒天時は中止となる場合がございます)。  
※イベント内容などは変更となる場合がございます。

スケジュール・詳細はこちら

Instagram X (旧Twitter)

**INFORMATION**

商店街のこれからを考え、互いに繋がり学ぶ  
「京都商店街創生フォーラム2024」開催

京都経済センター 3階  
オープンイノベーションカフェ「KOIN」

京都府及び商店街創生センターでは、商店街同士がお互いの取組について知り、商店街のこれからについて考えるとともに、「商店街」をテーマにつながる新たなネットワークづくりを促すことを目的に、「商店街創生フォーラム 2024」を開催します。

〈日程〉令和6年2月12日(月・祝)15:00～19:00  
〈場所〉京都経済センター3階オープンイノベーションカフェ「KOIN」  
〈申込期限〉令和6年2月6日(火)17:00まで  
〈定員〉100名(事前申込/先着順)参加費無料

【申込フォーム】  
右記のQRコードから申し込いただけます。その他の申込み方法については、商店街創生センターを御確認ください。  
HP: <https://syoutengai-c.com/>

申込フォームはこちら

「商店街まつり2024～京都を熱く～」開催

第1会場 京都市役所前広場  
第2会場 ゼスト御池 河原町広場

京都商店連盟および京都府商店街振興組合連合会では、地域商業の活性化を目指して「商店街まつり2024～京都を熱く～」を開催します。さまざまなイベントをご用意しておりますのでふるってご参加下さい。

〈日程〉令和6年3月10日(日)10:00～16:00  
〈場所〉京都市役所前広場/入場無料  
〈主催〉京都府商店街振興組合連合会  
〈共催〉京都商店連盟

詳細については、左のチラシを御覧ください。

商店街をもっと見る。もっと知る。

# 京都商店街新聞

2024.1 | Vol.8

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

発行 | 京都府商店街振興組合連合会 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78 (京都経済センター3階) TEL (075)-342-0301 FAX (075)-342-0302 URL <https://syouren.or.jp>

CONTENTS  
インタビュー：四条繁栄会商店街振興組合 | 古川町商店街振興組合：設立60周年編 | 山科商店会：SDGsパートナープロジェクト | 「京都商店街創生フォーラム2024」開催 | 「商店街まつり2024～京都を熱く～」開催 | 商店街川柳 | and more...



## 京都 四条 風格と華やぎの メインストリートを目指して

四条繁栄会商店街振興組合  
専務理事 矢野 三博 さん

**四条繁栄会専務理事の役割**

四条繁栄会は、野村理事長の下に副理事長が3人いて、様々な委員会を担当しています。専務理事は僕一人で平成8年からです。商店街の様々な事業にかかわって商店街の顔である理事長と共に動き、様々な団体との交渉も行っています。一言でいうと、実動部隊です。様々な取り組みが目に見えた形になっていくことにこの役割の一番の楽しさを感じています。

これは賑わいではなく単なる混雑です。ここで、私たちは、歩く人を中心としたまちづくりをはじめにしました。平成19年10月には京都市、四条繁栄会が協力し、バスとタクシーのみが通れる規制を行い、マイカーや物流車は通れないというかなり思い切った交通社会実験を行いました。この実験は極端という意見もありましたが、9割以上の方が広がった歩道に賛成するという結果となりました。これを受け、歩道拡幅を進め、車道も一車線ずつにしました。ここまで歩道を広げて車道を狭くしたまちづくりは、日本でも滅多にないと思います。交通社会実験の交渉時のアドバイザーであった京都大学の中川先生のすすめもあり、一連の取り組みを「京都 四条-風格と華やぎのメインストリートを目指して」という本として出版しました。

インタビューをおえて  
インタビュー後に、拡幅された歩道に出て、商店街をご案内いただきました。地下道では鮮やかな広告やアート作品の展示に加え、スーパーマリオの世界観にも触れることができました。お話いただいた内容がどうなっているのかを実際に確認することができ、違った目線で商店街を見ることができました。「半歩前をいく」四条繁栄会のこれからのさらなる楽しみになりました。

**風格と華やぎを目指したまちづくり**

去年の夏から、四条繁栄会では『風格と華やぎのあるストリートを目指しています 四条繁栄会♪』『伝統と新しさの出会うストリートを創造する 四条繁栄会♪』というような、サウンドロゴを流しています。ここにある「風格と華やぎ」は、四条繁栄会の目指しているまちづくりの基本理念です。この理念を常に意識し、賑わい作りに取り組んでいます。平成15年には、四条通地区計画を条例化し、出店業種を限定した上質な商業空間を目指すことにしました。平成15年10月下旬から16年3月末にかけて風格と華やぎのまちづくりビジョン策定調査を行いました。四条通に相応しいまちづくりとは何かを考察しました。平成17年12月には、心地よく歩ける四条通の実現に向けた要望書を京都市長あてに提出しました。当時の四条通は、歩道側の車線に停車車両が多く実質一車線になっていました。狭い歩道では、バス停付近の車道に人があふれて

このからの商店街の課題  
ハード面では、35年経つアーケードをどうするかです。防犯カメラや通行量カウンターもついており、日除け、雨よけだけじゃない多機能なアーケードのため、大きな検討課題です。また、ソフト面では、歩行者天国の「四条ひろば」の復活によって、さらに「歩く人を中心としたまちづくり」を実現していきたいです。そして、周辺の商店街や地域とともに、賑わいを共有し、人が回遊できるようなイベントもしていきたいです。周辺の14商店街を含む田の字地区のゲートウェイになればと思います。



|| 商店街・店主のみなさまへ ||

掲載情報、編集メンバー、川柳、広告  
大募集中です。

「これってどういうこと?」、「うちの自慢を記事に」、「後継者を探したい」、「編集に参加してみたい」などなど……。商店街での取り組みやお悩み、情報を共有し、自分ごととして考える。そんな身近な商店街新聞をめざすために、京都の商店街・店主のみなさまからの情報を随時募集しています。ぜひお気軽にお問い合わせください!

お問い合わせ先  
■ 京都商店街新聞 編集部宛  
E-mail / [kyoto.shotengai.shinbun@gmail.com](mailto:kyoto.shotengai.shinbun@gmail.com)  
■ 商店街川柳 応募フォーム  
URL / <https://forms.gle/YJ9oGc4YArgPpgVX6>

編集部宛フォームはこちら

**商店街川柳**

日常のひとこまを  
川柳にしてみませんか?

小春空 商店街ぶらり旅  
ヒロシさん

おつかいで泣いたあの子がもう晴れ着  
おめでどうさん

初売りで挨拶にぎわうみぎひだり  
とら太郎さん

サンタ来て福袋売り鬼は外  
整理番号65番さん

商店街川柳の  
応募フォーム  
はこちら▼

**商業空間を企画・デザイン・設計・施工**

株式会社 Fujitaka お問い合わせ ☎ 0120-533-771 受付時間/平日9:00-18:00  
本社/京都市下京区東塩小路町606 三旺京都駅前ビル7階 営業・サービス全国ネットワーク

# 古川町商店街振興組合 設立60周年編 1964年 ▶ 2024年 京都商店街の「魅力」探訪

取材・文・写真 | 京都橋大学経済学部 前田ゼミ

●古川町商店街振興組合 | 〒605-0026 京都市東山区古川町 546 番地の1  
URL : <https://www.furukawacho.com>

**古川町商店街のまちづくり小史**  
白川まちづくり すずき あつし 会社(古川越蔵) 鈴木 淳之さん

古川町商店街のまちづくりはどのようにすすめられたのだろうか?商店街や白川エリアの活性化に取り組む白川まちづくり会社(古川越蔵)の鈴木淳之さんにお話を伺った。

## ●起死回生の一手! 商店街のとった施策とは?

古川町商店街は、明治時代まで市場として発展したものの、スーパーなどの大規模小売店が出店したことにより、市場の中心であった生鮮食品の売上が低下した。市場は衰退にむかっただため、商店街のあり方を変化させる必要に迫られる。そこで古川町商店街は、「レトロ&モダン」のコンセプトを掲げ、商店街の活性化に取り組んだ。

「レトロ&モダン」の雰囲気をお客さんが集まり、新規店舗を立ち上げたことで、昔の市場とは異なる新たなスタイルが確立された。新規店舗立ち上げの際に、「雰囲気」を崩さないでほしいと要望は出すが、法的な縛りを設けることはできない。しかし、京都市の景観条例と古川町商店街の雰囲気を好む人たちが集まるため、コンセプトは維持されているというわけだ。

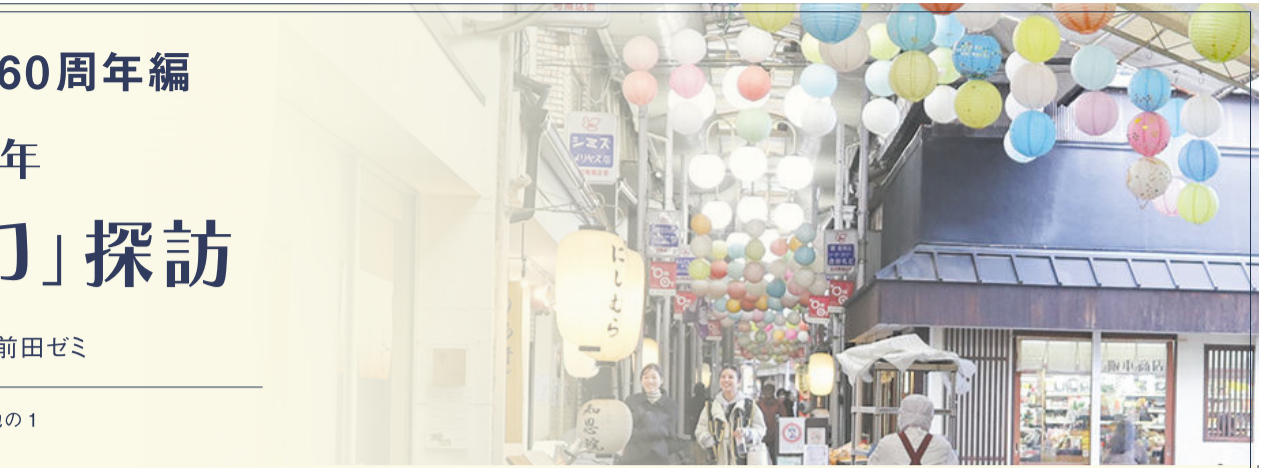
「レトロ&モダン」のコンセプトを実現している古川町商店街は、お客さんと店主の仲が良く、ゆっくりとした時間が流れているながらも自然と活気に満ちている。人とつながり大切に守り続けながら、商店街の発展に取り組む古川町商店街には今後も期待が持てそうだ。

## ●街を彩るランタンの歩み

現在古川町商店街は、ランタンがつるされている。各地からアマチュアカメラマンや大手ファッションブランドが、カタログの撮影のために訪れるなど撮影スポットとして有名となった。

ランタンの始まりは、提灯であった。9年前に、長い提灯がつるされ、地域住民からの評判も良かったが、一方で「提灯に色味がなく、お葬式みたい」と否定的な意見も上がったため、カラフルでコストが低いランタンが新たに採用された。試しに200個ほどつるしてみたところ、評判がよく、現在では900個ほどのランタンがつるされている。現在インスタグラムでは、1万ほどのランタンの写真が投稿されている。また、2018年からは定期的に、ランタン祭りが開催され、現在も続く人気イベントとなっている。

取材・文 : 今井雄介、勝見咲岐、高辻千穂、中澤貴翔、森岡善哉



## 日常生活に彩りと変化を与え続ける阪本商店の魅力

阪本商店 阪本 啓之さん

地域に密着しているだけでなく、近年観光客もよく訪れる古川町商店街。共に歴史を歩んできている阪本商店の現店主・阪本啓之さんにお話を伺った。

## ●阪本商店とは

昭和初期に創業した商店で、現在は商店街の中で「食卓のお助け処」として、普通とは少し違う珍しい食品を販売、営業されている。店主の阪本さんは、商品に対する熱意を語る。

## ●変化する商店街の中で生き続けた阪本商店の位置付け

「普段使っているものじゃなくて、この調味料を加えたら美味しいよとかちょっと何か生活に彩りを加えるお店、そういう位置付けかな」と、阪本さんはお店のコンセプトを話す。十数年前、商店街の変化に合わせて、売り上げの減少も覚悟で店舗面積縮小に踏み切った。

「何でもある日常の中で何か変化を与えるような、他と違う商品を提供することで、少し普段と違うものを。エッセンスみたいなものかな。のれんに書いてある「食卓のお助け処」というのは総菜屋の意味じゃないんです」。

店内には、店主自らが仕入れたこだわりの商品が並ぶ。「スーパーとは違う、それぞれの店が持つ専門性、それらが集まった商店街、その中でうちは調味料やお米、お菓子、お酒などの商品を請け負っています」。

## ●商品選びにこだわり続ける阪本さんのやりがい

「この店を営業し始めたときはネットというものはまだなかったのだけど、今は何でもネットで買える時代ですよね。ただ商品というのは無限にあり、ネットで探してコレっていうのは難しいと思います。実際に店に足を運んで商品を見てもらうというのが重要なんです。自分で選んだ商品を目当てに来てくれるお客さんがいて、選んだ商品に対して「美味しかった」や「良かった」、「これないとかかん」などと言ってもらったときがすごく嬉しいですよ」と話す。取材中もこだわりの商品を求め、入れ替わりお客が訪れる様子が見えた。

取材・文 : 石見豪健、中村恭葉、幕内聖華、望田瑛瑛



## 商店街をワイヤーで彩る新たな風

Wire&Days オーナー 伊賀野 彩さん

昨年、歴史ある古川町商店街の中にOPENし、そこで針金細工をされているWire&Daysさんにお話を伺った。

## ●Wire&Daysの概要

2023年5月に古川町商店街にできたWire&Days。職人と従業員で運営している。ワイヤーで作ったフォトスタンドやインテリア用品などが売られている。

お店のコンセプトは「気持ちと贈るワイヤーアート」である。手紙などはすぐに片付けてしまいがちであるが、「Thank you」などの文字をワイヤーで作り、インテリア用品にすることで、常に目に入るようになる。「プレゼントをしてくれた人を毎回思い出せることができる」と伊賀野さんは語る。最近は推しグッズとしても注目されており、推しをイメージさせるようなワイヤーアートやオーダーメイド商品が人気である。

## ●商店街や地域との関わり

古川町商店街には「昭和レトロな」感じと「ポップな」感じのお店があって、「ポップな」お店として、この商店街の一員になりたいと伊賀野さんは笑顔で語る。商店街のランタンとワイヤーアートの色がどちらもカラフルでマッチしていると考え、さらに、新しいことにたくさん取り組んでいるこの商店街と一緒に頑張りたいと思い、出店を決めたという。商店街に出店している方や地元の方たちにオープン前から支えられてきたので、恩返しをしたいと述べる。

遠方からも地域の人も訪れる、ここから古川町商店街を発信して、いろんな人に来てもらえるようなお店をもう1店舗オープンさせたいという大きな夢を描いているようだ。

取材・文 : 内山七咲、徳永琉我、中村優希、山田凌大、和田一希



オザキヤ時計店、SDGsの取り組みについてのインタビューの様子。(手前)安佐小学校5年生のお子さん(奥)菊澤 明彦さん

# 山科SDGsパートナープロジェクト 地域との連携で一步踏み出していく

山科商店会 会長 菊澤 明彦さん



取材・文 | 藤田 直己

京都市では、多様な事業者・団体がSDGsパートナーシップに参加できる制度として「京都SDGsパートナー制度」を進めています。その中で昨年、山科商店会が商店街で初めて登録されました。会長を務める菊澤さんに、商店会のSDGs活動やプロジェクトの概要についてお聞きしました。

## ※京都SDGsパートナー制度とは?

京都超SDGsコンソーシアムが実施主体となり、企業やNPO法人といった各種団体なども幅広く対象とし、SDGs、CO<sub>2</sub>ゼロに取り組み意思を宣言・実践する事業者などを公表する制度。



「京都SDGsパートナー制度」に登録すると、登録証が授与される。

## 活動を始めた経緯は何かですか。

令和3、4年度に京都市から「京都市商店街地域資源活用事業」の事業者の公募があり、山科の地域資源をもっと見出したいという思いから応募しました。そして令和3年8月には、JR山科駅の開業100周年を迎えることから連携を強化し、地域の「活性化」、「連携」、「貢献」の3本柱を掲げました。地域資源の活用の取り組みの中でSDGsは「持続可能性」という意味でもとても重要であると考えています。その後、(株)関広社長の南部

さんから「京都SDGsパートナー制度」の登録を勧めいただき、京都市立安佐小学校(以下安佐小学校)や京都シティ開発(株)、ラクト山科入居事業者、京都大学、京都超SDGsコンソーシアムらと連携した「山科SDGsパートナープロジェクト」を開始しました。

## 「山科SDGsパートナープロジェクト」での活動について。

京都大学浅利研究室が主体となり、安佐小学校5年生を対象に、SDGs学習成果の発表・展示を行いました。その中で事業者のSDGsの取り組みについて、商店会から6店舗がインタビューを受けました。私が営んでいるオザキヤ時計店ではビニール袋を使わず紙袋を使うといったSDGs活動に加え、時計を作る作業体験を行いました。その後成果をまとめたポスターセッションの発表会やディスカッションを通じてSDGsについて多くの人と話し合い、商店会の今後の活動についてスピーチもさせていただきました。

## 商店会でのSDGs活動について。

SDGsの定義は商店街の活動に向かない場合もあります。そのため、ただ難しい活動を挑戦していくのではなく、自分たちならできると思える活動を「継続」して行っていくことが重要であると考えます。

そこで、SDGsにも繋がる地域の貢献活動として、駅前の清掃活動「JR山科駅前クリーンアップ運動」を令和4年3月より開始しました。毎月18日の午前9時30分から、JR山科駅、京都シティ開発(株)に加えて、地域の皆様も自由にご参加ください、JR山科駅前の清掃活動に取り組んでいます。この活動がSDGs活動をするきっかけとなり、より多くの方がSDGsに目



「JR山科駅前クリーンアップ運動」の様子。

覚めるようになれば嬉しいです。

## 今後の取り組みについて。

「山科SDGsパートナープロジェクト」を通じて、多くの小学生の皆さんと交流することができました。このような学生との連携はお互いの刺激になるため、地域の学生との連携はこれからも進めたいと考えています。そのために広報活動を強化するなど、今までの型をはずして一步踏み出した活動していくことを心がけていきたいです。

また、地域あつての商店会であるため、町内会などとの関係づくりも大事にしています。山科商店会では、平成10年に大型ショッピングセンター「ラクト山科」が創業されて以降、加えて、店舗がほとんどなくなりましたが、現在はこれらの多くの店が別の飲食店舗へと変わり、空き店舗が残ることなく賑わいが続いています。商店会の立地の良さ、閉店時間の縛りがないことが要因であると考えられます。このように来るもの拒まずというスタンスでこれからもやっていきたいです。

地域の様々な主体との連携や、地域の皆さんとの関わりを大切にされていることが分かりました。長年続く商店街の軸を大切にしつつも、今までのやり方にこだわり過ぎず、来るもの拒まずの新しい風を取り入れていくことが、「継続」していくために重要であると感じました。

●山科商店会 オザキヤ時計店 | 〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道49 | ☎ 075-581-3403 | E-mail : ozakiyatokai@docomo.ne.jp | URL : <https://www.yamashina-shotenkai.com/>

京都フィギュアみやげ DyDo ガチャ自動販売機 展開開始!

チラシ・HPは 株式会社 一広へ HPお問合せ下記まで

とろろ 京都駅(みやこみち) ☎075-691-4680

365日 晴れの街、アーケードショッピング街。 sanjo 京都三条会商店街振興組合

ISO 14001-9001 NICHIGAI 日本街路灯製造株式会社

光互業株式会社 総合建設業 犬小屋からお城まで! あと一步のお手伝い。

京都 東急ホテル KYOTO TOKYU HOTEL

「地域と共に歩むクラブへ」 共創